

松尾学術研究助成候補推薦要項

1 助成の趣旨

近年、日本は工業技術の進歩の上に豊かな社会を築くことに成功しました。純粋に知的な人間の活動である芸術活動や自然科学の研究活動の発展等に寄与することは我が国のような豊かな社会に課せられた義務でもあります。当財団は主として自然科学の学術研究、併せて人文科学（当面音楽、特に室内楽分野）の助成を通して、我が国の文化の向上に貢献することを目的としております。自然科学分野としては、当面、原子分子物理学と量子エレクトロニクスの研究助成を行います。

2 助成対象となる研究分野

原子分子物理学は、現代物理学の基礎を作ってきましたが、近年、レーザー技術などの新しい研究手段の導入によって、新たに飛躍的な進歩を遂げつつあります。例えば、最近では原子・分子のボーズアインシュタイン凝縮(BEC) 物質波光学などの研究が始まり、それらを通じて物理学の基礎概念の検証や新しい発見にも挑戦できる可能性も見えてきました。

助成の対象としては、原子分子物理学及び量子エレクトロニクスの基礎に関する実験的・理論的研究、及びそれらを手段として用いた物理学の基礎に関する研究とします。新しい創造的な発展の可能性を持つ萌芽的な研究を特に歓迎します。

なお、これまでに助成の対象となった研究課題の一覧が当財団ホームページに掲載されているので参考にしてください。《<http://www.matsuo-acad.or.jp>》

3 助成対象の研究者

大学等の機関において自然科学分野の研究に従事している研究者及び同研究者を代表とする研究グループでその研究成果が学術の進歩・発展に貢献するところが大きいと思われるものを対象とします。

なお、年齢等の制限は設けておりませんが、若手研究者を優先して助成する方針です。

4 助成金額と助成件数

助成金総額は約2000万円とし、助成件数は5～6件程度とします。

5 助成期間及び再応募

原則として、1年とします。

但し、研究の発展等によりさらに助成を必要とする場合、あるいはまったく新しい研究課題について、同一研究者が再応募することは防げません。

6 助成金の交付

研究計画に従い、一括交付します。

7 助成金の使途

研究経費の使途は、(1)設備備品費 (2)消耗品費 (3)旅費 (4)謝金 (5)その他とします。

(注) 研究に従事する者の人件費に類するものは認めません。

8 応募方法

全国の国・公・私立大学の学部、附属研究所、公的研究機関、日本物理学会、応用物理学会及びレーザー学会等の推薦によります。

9 推薦手続

所定の申請書用紙（候補推薦書－ホームページからもダウンロード出来ます）に必要事項を記入の上、推薦者より当財団宛に一部郵送願います。

10 推薦締切日

平成24年7月31日（火）必着

11 選考方法

選考委員会において選考します。

（自然科学選考委員会）

委員長	藪崎 努	市川 行和	加藤 義章
	北野 正雄	小林 信夫	桜井 捷海
	山崎 泰規		

12 助成の決定

選考委員会の選考を経て、当財団理事会において決定します。

13 助成決定の通知

選考結果を、推薦者と申請者に対し、助成金額、交付の時期その他を通知します。

（通知時期9月中旬予定）

* 助成決定後の事務要領については、助成金受領者に直接通知しますが、提出していたべく主な報告書類は下記のとおりです。

1) 研究進捗状況報告書（助成金受領の約2年後に提出）

2) 助成金使途報告書（助成金受領の1年後に提出）

* 助成金受領者には、将来、研究成果の発表をお願いする場合がありますので、ご承知おき下さい。

（候補推薦書提出・連絡先）

公益財団法人 松尾学術振興財団事務局

〒166-0002 東京都杉並区高円寺北2-29-15(善和ビル)

TEL. 03-3223-8751 FAX. 03-3310-0531

E-mail: matsuo@matsuo-acad.or.jp

受付番号

第25回 (平成24年度)
松尾学術研究助成候補推薦書

年 月 日

公益財団法人 松尾学術振興財団

理事長 宅間 慶子 殿

(推薦者)

機関名

〒

所在地

電話番号

代表者

(印)

下記のとおり松尾学術研究助成の候補を推薦します。

言己

代表研究者 氏 名 (年齢) (ふりがな)		所属機関所在地 〒	
所属機関・職名	電 話	F A X	E-mail
主な協同研究者 氏 名 (年齢)		所属機関・職名	所属機関所在地
研究題目 (英文)			
自宅住所 電話 (携帯)			

1. 同一フォーマットであれば、パソコン等により作成しても結構です。
2. 紙面不足の場合は同形の別紙を使用して下さい。
3. 自宅住所、電話は当財団から外部に教えることはありません。

研究目的（具体的に記述）

本研究の意義（学問的，応用面）

研究実施計画

本研究のこれまでの準備状況

研究経費と当財団に対する申請助成金額

研究経費区分	内 訳	金 額	調 達	
			当財団申請	他 機 関
		千円	千円	千円
設 備 備 品 費				
消 耗 品 費				
旅 費				
謝 金				
そ の 他				
合 計		①+②	①	②

- 注) 1. 内訳は具体的に記述して下さい。(多種の場合は適宜別紙(A4判)を使用のこと)
 2. この助成金で購入した機器類は所属機関に寄付して下さい。
 3. 設備等で1件の調達得当財団・他機関に亘るときは当該機関と購入先・価格等について調整を行ないます。
 4. 研究経費について特記事項があれば別紙(A4判)に説明して下さい。

研究者または研究グループの当該研究分野に関する最近5ヶ年の発表論文（主要論文は別刷添付，ただし添付資料はお返しいたしません）

国内および国外における当該研究の現状

最近 5 ケ年の研究助成金等の受領歴						
年度	研 究 テ ー マ	研究 分担	研究 期間 年	研 究 費 総 額 千円	受領した助成金等	
					金 額 千円	助成機関名

注) 1) 本申請研究関係以外のものも記入。

2) 研究分担欄は単独は単，共同は共で表示。

2) 研究費については捕捉できる範囲（共同の場合など）で記入。

研究者の略歴